

2015年度～2017年度 静岡ろうきん第2期中期計画

# TRY

Three Revolutionary Years to the future

働く人に信頼され、選択される〈静岡ろうきん〉であり続けるために、  
経営改革に「TRY(挑戦)」する3ヵ年

## 営業改革

- ・高い成果をあげる営業体制の構築
- ・会員、お客様との接点の拡大
- ・〈ろうきん〉の特性を活かした営業戦略の実践

など

## 労金運動の さらなる発展

## 事務改革

- ・業態統一ルールに準拠した効率的な事務工程の確立
- ・事務量の削減による営業態勢の強化
- ・アール・ワンシステムによる会員事務負担軽減

など

## 人事改革

- ・福祉金融プロフェッショナルの育成
- ・能力、役割、業績に応じた公正な処遇
- ・経営体力に見合った適正配分

## ビジョン=「ろうきんの理念」の実践

～働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関として役割発揮～  
 ～会員は平等の立場で運営に参画し、運動と事業の発展を「ろうきん」とともにめざします～  
 ～人々が支え合う共生社会の実現のために～

### 3年後の姿(中期計画の目標)

## 働く人としっかり向き合い、信頼され、選択される「静岡ろうきん」

主要な数値目標(2018年3月末現在)

- |           |       |                 |                |       |           |
|-----------|-------|-----------------|----------------|-------|-----------|
| ①預金残高     | …………… | 1兆円以上           | ③融資残高          | …………… | 6,700億円以上 |
| ②預かり資産販売額 | …     | 300億円以上(3年間の累計) | ④OHR(業務粗利益経費率) | …     | 90%未満     |

## 基本戦略

### 労金運動のさらなる発展

- 会員とともに働く人の生活課題に取組み、働く人のパートナーとして労金運動をすすめます。
- 会員が行う「福利共済活動」を積極的に応援し、会員構成員の“笑顔”につなげます。
- 会員役員との対話や会員構成員を知る活動を展開するとともに、必要な情報をお知らせし、「ろうきん」の利用を促進します。
- 多様な雇用形態で働く人との接点を拡大し、利用しやすい環境づくりをすすめます。

## 働く人にもっとも身近な福祉金融機関として

### 事務改革の実践

#### 良質な事務の実践

- 事務工程を大幅に見直し、事務効率化・省力化をはかります。
- 迅速・丁寧かつ堅確な事務を実践し、お客様満足の上昇をはかります。
- 会員事務の支援体制を整え、事務負担の軽減をめざします。

### 営業改革の実践

#### 営業態勢の強化

- 働くすべての人に生涯にわたって安心して利用いただくため、営業態勢を強化します。
- お客様への直接奉仕による事業活動を基本に、お客様視点での金融サービスを展開します。
- お客様のアフターフォローを強化し、ニーズに合わせた提案により複合取引の深耕をはかります。
- 渉外態勢を充実し、会員事情に応じた提案営業を展開します。
- 住宅業者会や宅建協会、不動産流通活性化協議会等との連携を強化します。

### 人事改革の実践

#### 福祉金融事業を担う人財の育成

- 「福祉金融プロフェッショナル」を育成し、会員・働く人の金融および勤労者福祉のニーズに応えます。
- 人員配置の見直しなどを通じて、職員の活躍機会を創出します。
- 能力・役割・業績に応じた公平な処遇を行い、やりがいと働きがいのある職場風土を醸成します。

## (安定的な事業基盤の構築)

- 「営業」、「事務」、「人事」、「収益」の経営改革効果を創出し、高い成果をあげる営業店、営業店を力強くサポートする本部体制を構築し、収益性を向上させます。
- 組織機構の改革、収益管理の高度化、リスク受容など経営資源を効率的に活用し、魅力ある商品提供、安定的な会員還元を実施する収益基盤を確立します。
- 事業運営原則の遵守、コンプライアンス経営の実践、内部管理態勢の強化を金庫経営の基本に、中期計画目標および年度事業計画目標を必達します。